

# KiKiの広場

2021年 9月 1日  
cafe NO.131  
KiKi



去年は、3月5日から臨時休館が始まり、その後何度も期間が延長され、結局5月25日までの休館を余儀なくされました。今回、市からの公共施設への休館要請は12日までですが、はたして13日から再開できるのか不安は尽きません。「コロナウィルス」から、今やもっと感染力が強い新型コロナウイルス変異株の「デルタ株」が相手です。スタッフのワクチン接種や、各部屋の消毒、利用者の方にも感染防止対策のご協力など、できる限りの対策を行ってきました。インフルエンザのように“ある時期だけ”でなく、コロナとは1年通して付き合わなければなりません。これからも引き続き、できる限りの感染防止対策を行い、少しでも早く落ち着くことを願い、祈りながら、スタッフ一同、協力して頑張っていきたいと思っております。休館中はご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 9月の予定

臨時休業日	～12日(日) 23日(木)
定休日	毎土・日・月曜日

## ヒストリア字部の受付対応について

休館中ではありますが、**受付業務は行っております。**  
新規会場予約やご相談など、通常通り承っております。

開館日及び時間：月～金曜日 9:00～18:00

## 今月のお気に入り…「いつの時代も心惹かれる月の絵本」

～「お月さんのシャーベット」「きょうはそらにまるいつき」「ぼんぼん山の月」「まんまるおつきさまをおいかけて」などなど～



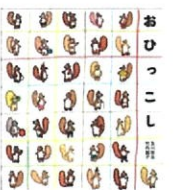
「お月さんのシャーベット」は、韓国の絵本作家ペク・ヒナの作品で、訳は長谷川義文さんです。紙で作った人形とミニチュア模型が織りなす、幻想的な世界が味わえます。光の描写が眩しくてわくわくするような楽しい絵本です。長谷川義文さんの関西弁の訳が、妙にマッチしています。「きょうはそらに

まるいつき」は、荒井良治さんの作ですが、よく知っているコミカルでかわいい絵とは違うタッチで描かれています。1日の終わりに、ごほうびのようなお月さまと出会える。どこにいても同じ月を見ることができるって、なんて素敵なことだろうと改めて思いました。夜にぴったりの絵本です。



## 今月の本棚…「りすが出てくる絵本」

～「おひっこし」「ヒッコリーのきののみ」「ぐるぐるちゃん」「ちいさなリスのエメラルド」「りすのピーナッツ」「子リスのアール」～



秋と言えば「どんぐり」、どんぐりと言えば「りす」という単純な発想で、今回は「リス」の特集です。「おひっこし」は、りすたちが新しい木を目指して、大移動するお話ですが、笑えるほどたくさんりすが出てきます。細かい描写も楽しくて面白くて、とっても可愛い絵本です。集合体が苦手な人には、ちょっと無理かも。(^^;)「ヒッコリーのきののみ」は、「どうぞのいす」の香山美子・柿

本幸造コンビ作です。「ヒッコリー」とは、クルミ科の樹木のことで、りすだけでなく人間もナッツとして食べているそうです。ヒッコリーの木とりすの約束とは？優しく可愛らしいお話ですが、森の中で動物と自然が当たり前のように共存している中、果たして人間は？と考えさせられます。



## ケーキブレイク

🍰「今月のケーキ」…「パイナップルのタルト」 350円 🍰



パイナップルをふんだんにトッピングした食べ応えのあるボリューム感と、カスタードクリームのやさしい味わいのタルトです。温めても美味しい！

🍰「気まぐれシェフのKiKiオリジナルシフォンケーキ」

「キャラメル&ナッツシフォンケーキ」…300円



大好評のシフォンケーキです。ふんわり甘いキャラメルと、香ばしいナッツの食感がたまりません！めちゃうくちゃ美味しいですよ！！